

2005年12月定例会(12月14日開会予定)の久代安敏議員の一般質問要旨は、つぎのとおり。

小学校統合問題について

小学校統合に一定の結論が出た。校区単位の説明を終えて、統合にともなう初等教育の充実と子育て支援、財政的な問題と二つの面からの今後の展望について問う。
来年度からの大宮・阿毘縁・山上小の統合を、平成21年度1校統合の前提にすべきではない、と考えるが、町長、教育長の見解をあらためて問う。

分園方式による幼保一園化について

3幼稚園・4保育園を分園方式による1園化となることになったが、新しくスタートする統合の「分園・山上保育園」(仮)は、児童福祉法第7条の根拠法令にもとづいて設置されると思うが、その内容は。

校区まちづくり協議会について

2006年度の予算編成方針で、「まちづくり協議会の育成と自治組織の再編」とある。
今年で4年目になる住民参画まちづくり事業を、どう総括しているか。
各校区で協議がなされているが、行政と住民とのあいだに乖離がある。交付金や補助金などの一括交付は、住民の自治組織から出された要望か。

役場周辺の駐車料金について

役場(本庁)職員と周辺の民間企業などの職員から駐車料金を徴収している。料金の基準は何か。
町の会計の歳入となる「利用料」は、条例化して町民に情報開示すべきでは。
駐車場のスペースは十分ある。廃止をふくめ、再検討すべきではないか。

ゴミの減量化について

焼却されるゴミが、ゴミのリサイクルして資源となるのかは、環境問題を考え循環型社会をすすめるために重要である。ゴミとなっている生ゴミの堆肥化をすすめて減量化する考えはないか。
学校給食、病院、介護施設、外食事業所など廃棄量の多いところからでもすすめるべきでは。